

市政最前線

バリアフリーのまちづくりに向けて

三路線で「ノンステップバス」を運行中

近年、高齢者や身体に障害のある方が不便を感じないで生活できるように、道路や公共交通機関、建物の設計などを工夫する「バリアフリー」

のまちづくりが必要になっています。本市においても、市民のみなさんが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、公共施設や学校、歩道などのバリアフリー化の推進に努めています。今回は、このうち「超低床ノンステップバス」事業についてご紹介します。

この事業は、民間バス事業者に対して、国と市が車両購入費の一部を補助をして運行するもので、平成十一年度から始めました。市内のバス路線のうち、泊山医療センター

予算化された新たな事業

事業の途中経過

特集のその後

線、三重団地笹川線に次いで、今年度は羽津山・市立病院線にそれぞれ二台ずつ運行しています。

「超低床ノンステップバス」は、その名のとおり床の高さが一般のバスより低く、乗降口に段差のない車両です。ボタン操作で車体を七センチ下げたり、乗降口側に傾けたりすることもできます。そのため、高齢者や身体に障害のある方、小さなお子さんも安全に乗り降りができます。また、幅の広いドアを採用し、乗降口にはスロープ板を装備していますので、車いすや乳母車でも安心してご利用いただけます。

運行されているのは、高齢者や障害のある方の利用に便



■問い合わせ 障害福祉課

(☎54-8171)

利だと思われる路線です。今年度運行が開始されたコースは、市立病院・文化会館前・近鉄四日市東・川原町・金場町・社会保険病院前・羽津山・大谷台・垂坂・Jヒルズ・東芝四日市前（東芝四日市前は平日のみ）で、全便の半数に当たる一時間に一、二便がノンステップバスとなります。車いすでのご利用の際には事前に電話による予約が必要です。

だれもが自由にまちの中を行き来でき、社会のいろいろな場に参加できるように、今後も、バリアフリーのまちづくりに努めていきたいと考えています。

省エネルギー対策にさらに力を入れて取り組んでほしい

継続的にレベルアップを図っていきます

ご意見

夏に三重県庁を訪れた際、エアコンは二十八度に設定されていた。

市から

本市では、市役所も一つの事業所として環境に配慮した取り組みを進めようと、市役所本庁舎と北館、市営中央駐車

会などの会議でもノーネクタイのエコスタイルが実践されていました。省エネに対する県庁の先進的かつ率先した取り組みに感銘を受けました。四日市市でも省エネの対策は講じられているようですが、三重県の取り組みと比較するとまだまだと思います。さらなる省エネの徹底を要望します。

(市政モニター・男性)

場を対象に環境管理システムを構築し、平成十二年二月には環境管理の国際規格であるISO14001の認証を取得しました。こうした取り組みの中で、市役所から発生する環境負荷の低減に努め、さまざまな省資源・省エネルギー対策に取り組んでいます。具体的には、冷房温度は二十八度に、暖房温度は二十度に設定するとともに、昼休み

あなたの

こえ 声 こ

広聴のコーナー

ご意見・ご提案をお寄せください

あて先は

〒510-8601 市役所市民生活課 広聴係

TEL54-8147 FAX59-0284

四日市市公式ホームページ

http://www.city.yokkaichi.mie.jp

「市政への提案箱」へ

(住所・名前を明記してください)

今回は、今年度の市政モニターの方からお寄せいただいたご意見・ご要望の中から抜粋・要約したものを掲載させていただきます。

市民活動ファンド助成事業 中間報告会開催

市民活動団体に対して資金面で援助する「四日市市民活動ファンド」が平成十二年度に開設されました。これは、市内の市民活動を活発にすることを目的とし、毎年、立ち上がり期助成として一事業につき五万円以内、確立期助成として一事業につき二百五十万円以内（十四年度以降変更される可能性があります）を助成するものです。

二年目を迎えた今年度は三月五日から五月七日まで助成事業の募集を行いました。応募のあった十の事業について、公開のプレゼンテーション（実施したい事業についての説明会）を開催しました。その結果、六つの団体に助成が決定し、現在助成を行っていています。助成団体と事業内容は下表のとおりです。

来る十一月十七日（土）には、これらの事業のうち、すでに完了した事業と取り組み

●助成団体と事業内容

団体名	事業内容
・さくらインターネットサークル	高齢者や初心者を対象に、市民同士で教えあう形式により、パソコンなどのIT講習会、交流会、個別講習を行います。
・クロスポイント	市民を対象に、市民生活に役立つ情報を発信するためのメディア（情報伝達手段）入門講座を開催します。
・クアルト・メルカート	自分たちの地域を見つめ直したり、問題意識を持っていただいたりするきっかけづくりとして、児童を含む市民を対象に、地域の大切な建物でもある亀山製絲(株)室山工場（室山町）の写生大会を行います。
・植える come かわしま	地域のコミュニティ形成と美しいまちづくりを目指して、地域の中でハーブを育ててガーデニングを行います。
・バリアフリー・アドバイザー・北勢地区連絡協議会	障害者や高齢者の意見が反映されたバリアフリーのまちづくりを進めるため、市内および周辺における公共施設のバリアフリー化の進捗状況を実地調査します。
・PPK四日市	地域の中学生や高齢者とともに里山保全活動を行い、伐採した竹を使って炭づくりを行います。その作業場として「夢工房」と名付ける小屋を建設し、高齢者と子どもたちの交流の場にします。

中の事業の報告や、市民活動ファンドなどについての意見交換などを行います。時間は、午前九時三十分から約二時間程度で、場所はなや学習センター（蔵町四十七）の音楽室です。どなたでも自由に参加できますので、ぜひ、お越

してください。

なお、この市民活動ファンドは、市民のみなさんの寄付によって支えられています。「市民によるまちづくり」を進めていくために、みなさんのご協力をお願いします。問い合わせや寄付の受け付けは、市役所市民生活課（☎54-8117）または市民活動センター（なや学習センター2階 ☎50-0201）へ。

の消灯、エレベーターの間引き運転、ノーネクタイなどの夏のエコスタイルの実施などを行っています。これにより、今年度は平成十年の実績に比べて電気使用量を一%、ガス使用量を五%削減することを目指しています。このほか、再生紙の利用、両面コピーやリサイクルの徹底、環境に配慮した工事の推進などにも努めるとともに、職員が主体的に通勤自動車の使用を自粛するノーマイカーデーを毎月二日設けるなど、市を挙げて環境保全に取り組んでいます。

また、ISO14001認証取得対象以外の市施設（保育園、幼稚園、小・中学校、各地区市民センター、水道局、消防署など約二百施設）については、今年七月に四日市市役所版の環境管理システム「YSO」を構築し、それぞれの施設の特性に合わせて本庁舎と同様に環境負荷の低減に努めているところです。

しかしながら、例えば昼休みの消灯についても、戸籍や税、年金、福祉などの窓口業務などは昼休みの間も行っており、市民サービスの観点から消灯を徹底するには制限が

あります。それでも、ご指摘のように三重県の取り組み状況と比べて「まだまだ」ということであれば、今後、さらに努力していかなければならないと考えています。

市民のみなさんの中にも、環境問題に対して先進的な取り組みをされている方がたくさんいらっしゃいますが、市では、市役所での取り組みがさらに市民のみなさんに広がり、地球環境の保全へとつながることを期待しています。

そこで、市民のみなさんや三重県北勢県民局と協働で、市民版の環境ISOとも言える「ISOP計画」を策定しました。現在、この計画には、市内や県内はもちろん、全国から手を超える家族に参加していただけており、今後も引き続き参加家族を募集していきます。

ISO14001に基づく取り組みやYSOの取り組みは、いずれも継続的に改善を目指していくものであり、市民のみなさんのご意見をお聴きしながら、さらにレベルアップを図っていきたいと考えています。

環境保全課（市役所5階 ☎54-8188）